

## 目次

★	発生動向総覧	P 1～3
★	感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P 4
★	指定届出機関からの特記事項欄コメント	P 4～5
★	全数把握感染症集計表	P 6
★	定点把握感染症集計表	P 7～11
★	定点把握感染症推移グラフ	P 12～16
★	定点把握感染症集計表（月報）	P 17～20
★	定点把握感染症推移グラフ（月報）	P 21～22
★	新型コロナウイルスのPCR検査等の状況	P 23
★	国内及び静岡県内の季節性インフルエンザの流行状況	P 24～25
★	サル痘	P 26～27



# 発生動向総覧

《第13週コメント》 4月6日集計分

県内のインフルエンザの定点当たり報告数が2.28となり、先週の3.39から3週続けて減少しました。

## ◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、静岡市（2）、西部（1）、浜松市（1））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 サル痘（1）
- 5 類感染症 急性脳炎（浜松市（1））、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（中部（1））  
侵襲性肺炎球菌感染症（富士（1）、西部（1））、梅毒（富士（1）、静岡市（1）、浜松市（2））、百日咳（賀茂（1））

## 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（15）、熱海（33）、東部（145）、御殿場（17）、富士（140）、静岡市（176）中部（138）、西部（130）、浜松市（180）、自己検査（44））

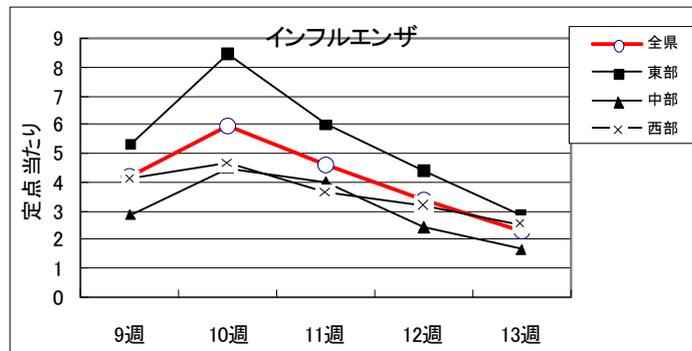
## ◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所  
感染症情報センター

令和5年第13週(3/27~4/2)の動向

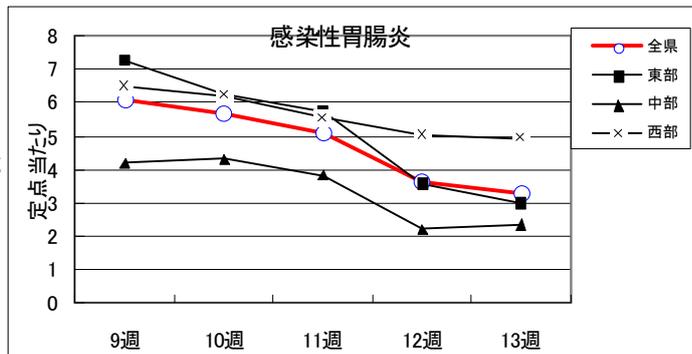
### インフルエンザ

全県で罹患数331、定点当たり2.28の患者発生あり、県下全地区で減少し前週の0.70倍となった。定点当たり東部地区で2.86、中部地区で1.67、西部地区で2.51の発生あり。10週をピークに減少が続いている。保健所別では御殿場HCが定点当たり15.5で前週から減少したものの依然警報レベルを維持している。



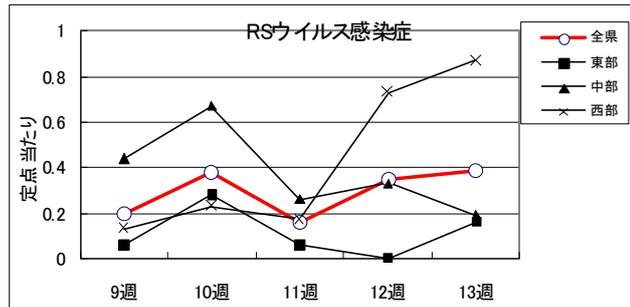
### 感染性胃腸炎

全県で罹患数306、定点当たり3.29の患者発生あり、前週の0.93倍に減少した。定点当たり東部地区で2.97、中部地区で2.33、西部地区で4.93の患者が発生した。



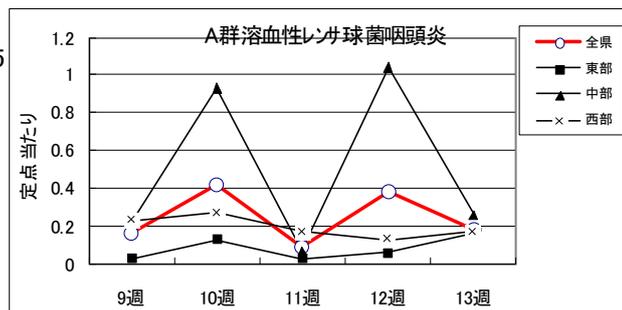
### RSウイルス感染症

全県で罹患数36、定点当たり0.39の患者発生あり、前週の1.16倍に増加した。定点当たり東部地区で0.16、中部地区で0.19、西部地区で0.87の患者が発生した。



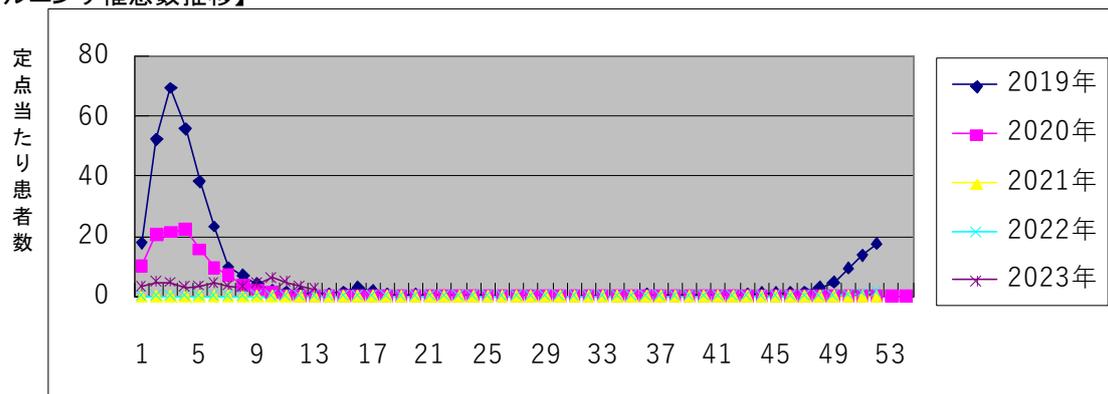
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

全県で罹患数17、定点当たり0.18の患者発生あり、前週の0.5倍と減少した。地区別では東部地区で2.67倍、西部地区で1.3倍と増加したが中部地区で0.25倍に減少した。定点当たり東部地区で0.16、中部地区で0.26、西部地区で0.17の患者が発生した。



- ・風疹、麻疹とも患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生は4.06で前週の0.63倍に減少した。注意報レベルの保健所を有する都道府県の11に減少した。
- ・静岡県において第13週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎(3.29)、2)インフルエンザ(2.28)、3)RSウイルス感染症(0.39)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(0.18)および咽頭結膜熱(0.18)、5)突発性発疹(0.15)で、前週の順位と変動した。

### インフルエンザ罹患数推移】



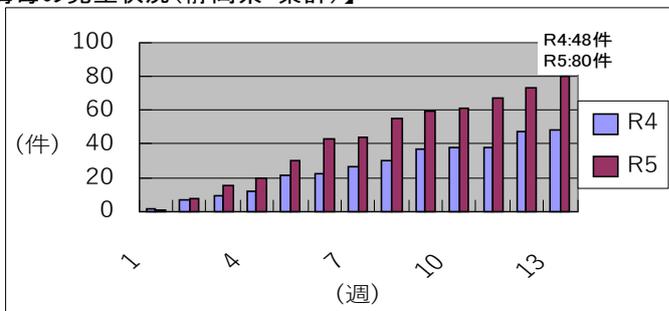
【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】  
(令和4年36～令和5年13週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9		5		
	静岡市	3		1		
	浜松市	0				
R5 1週		0				
2週	静岡県	3		3		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
3週	静岡県	5		4		
	静岡市	5		5		
	浜松市	0				
4週	静岡県	4		2		
	静岡市	6		6		
	浜松市	1		1		
5週	静岡県	2		2		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
6週	静岡県	10		6		
	静岡市	2				
	浜松市	0				
7週	静岡県	1		1		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
8週	静岡県	2				
	静岡市	3		3		
	浜松市	0				
9週	静岡県	1				
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
10週	静岡県	7		5		
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
11週	静岡県	4		3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
12週	静岡県	4		3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
13週	静岡県	3		1		
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				

検査中

検査中

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】



・13週は前年同期比1.67倍の増加となった。

【注目すべき疾患】

全国で発生数の多い疾患は順に梅毒(3480)、結核(3043)、侵襲性肺炎球菌感染症(434)、カルバペネム耐性腸内細菌感染症(427)、レジオネラ症(318)で、本県でも同様に梅毒(80)、結核(78)、侵襲性肺炎球菌感染症(10)、カルバペネム耐性腸内細菌感染症(8)、レジオネラ症(10)の発生が多い。

## ◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警報 インフルエンザ（御殿場）

注意報 なし



### 指定届出機関からの特記事項欄コメント

#### 感染症第13週（令和5年3月27日～令和5年4月2日）

かわづクリニック（河津町）「カンピロバクター 2名（32歳女性、34歳男性）」  
よぎ小児科医院（沼津市）「インフルエンザA型 3名」  
光ヶ丘小児科（三島市）「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 1名、咽頭アデノ 1名」  
なかがわ医院（小山町）「インフルエンザA型 7名」  
安田内科小児科医院（御殿場市）「ノロウイルス 3名」  
富士病院（御殿場市）「インフルエンザA型 18名」  
お八幡医院（御殿場市）「インフルエンザA型 12名」  
小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 8名」  
田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザA型 6名」  
共立蒲原総合病院・内科（富士市）「インフルエンザA型 2名」  
富士宮市立病院（富士宮市）「インフルエンザ 1名」  
幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 1名」  
谷口小児科医院（富士宮市）「インフルエンザ 2名」  
瀬尾小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 7名」  
平野医院（富士市）「インフルエンザ 1名」  
あしだクリニック（焼津市）「インフルエンザA型 6名（2歳男児1名、6歳男児1名、10～14歳男児1名、15～19歳男児1名、30～39歳女性2名）」  
むらまつファミリークリニック（藤枝市）「インフルエンザA型 1名（7歳女児）」  
田中医院（磐田市）「インフルエンザA型 2名（3歳男児1名、1歳女児1名）」  
市立御前崎総合病院（御前崎市）「インフルエンザA型 1名（1歳男児）」  
浜松医療センター（浜松市）「インフルエンザ 1名」  
総合病院聖隷浜松病院（小児科）（浜松市）「インフルエンザ 1名」  
クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 4名、インフルエンザA型 17名」  
今西こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザ 2名」  
げんきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 4名」  
いぬかい小児科（浜松市）「インフルエンザA型 11名」  
すずきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 1名」  
幸田子供クリニック（浜松市）「インフルエンザA型 3名」  
たなか小児科（浜松市）「インフルエンザ 6名」

天童こども医院（浜松市）「インフルエンザA型 16名」  
小児科竹内医院（浜松市）「インフルエンザ 2名」  
小松診療所（浜松市）「インフルエンザA型 1名」  
金指こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザ 1名」  
縣医院（浜松市）「インフルエンザA型 4名」  
おおば小児科（浜松市）「インフルエンザA型 6名」  
くまがいクリニック（浜松市）「インフルエンザ 3名」  
高平内科（浜松市）「インフルエンザ 4名」  
宮口こんどうクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 2名」  
のずえ内科呼吸器クリニック（浜松市）「インフルエンザ 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(R4-R5シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	3,095名	97%
インフルエンザB型	81名	3%

静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。

- ・引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国					
		8週	9週	10週	11週	12週	今週	年累計	10週	11週	12週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		5	4	3	5	5	5	78	234	186	196	203	3,043
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		3,382	2,502	2,123	1,385	1,047	1,018	166,779	63,294	50,781	47,482	69,695	4,192,021
コレラ													1
細菌性赤痢									2	1		1	7
腸管出血性大腸菌感染症		1	1					5	10	10	20	28	243
腸チフス									1	1			13
パラチフス									1	2			5
E型肝炎								1	8	14	8	14	149
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									1	1	2		17
エキノコックス症													3
糞熱													
オウム病													2
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘							1	1	10	11	19	14	86
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群									2	2	1	2	14
腎臓橋性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱										1			1
つつが虫病										2	1	1	50
デング熱									2		1	3	15
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱											1	1	7
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
癩しんチフス													
ポツリヌス症												1	5
マラリア													
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症		1	3		1			10	31	18	13	17	318
レプトスピラ症													2
ロッキー山紅斑熱													
アmeerバ赤痢				1				5	10	10	9	7	129
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									8	5	2	3	60
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	1	1				8	29	19	18	17	427
急性弛緩性麻痺									1	1	2	1	12
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)			1				1	7	4	6	1	4	105
クリプトスポリジウム症													1
クロイツフェルト・ヤコブ病								1	2			2	32
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1		1	7	9	11	10	18	221
後天性免疫不全症候群								2	11	12	13	13	217
ジアルジア症								2	3	1	1		13
慢性的インフルエンザ菌感染症					1			3	3	3	3	4	68
慢性的髄膜炎菌感染症											2		4
慢性的肺炎球菌感染症		1	1		1	3	2	10	19	35	27	25	434
水痘(入院例に限る)								1	8	5	9	6	75
先天性風しん症候群													
梅毒		6	1	2	4	2	4	80	200	160	148	203	3,480
播種性クリプトコックス症								1	5	1	4		46
破傷風								1			1	1	13
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1			3	4	2	3	1	43
百日咳			1				1	3	4	8	4	18	146
風しん										2			1
麻しん									1			1	2
薬剤耐性アシネトバクター感染症													5
新型コロナウイルス等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

## 定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 13 週

	静岡県							全国				
	8週	9週	10週	11週	12週	今週	計	10週	11週	12週	今週	計
RSウイルス感染症	25	18	34	14	31	36	158	1,116	1,226	1,313	1,514	5,169
咽頭結膜熱	26	11	16	15	20	17	105	527	541	505	578	2,151
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	14	37	8	34	17	132	1,633	1,619	1,515	1,624	6,391
感染性胃腸炎	650	541	503	453	324	306	2,777	18,503	16,767	13,245	11,712	60,227
水痘	6	5	3	6	5	7	32	186	243	223	259	911
手足口病	1	1	2	2	3	8	17	216	224	232	277	949
伝染性紅斑		1	1		1	3	6	37	28	27	24	116
突発性発しん	12	19	16	21	20	14	102	646	721	634	755	2,756
ヘルパンギーナ					1	2	3	154	173	187	312	826
流行性耳下腺炎	5	4	6	5	1	3	24	91	100	79	97	367
インフルエンザ	418	578	829	638	471	331	3,265	54,796	41,319	31,760	20,013	147,888
急性出血性結膜炎								5	4	8	3	20
流行性角結膜炎	4	3	3		1	4	15	142	141	108	152	543
クラミジア肺炎(オウム病は除く)												
細菌性髄膜炎	1	2	1				4	11	6	6	6	29
マイコプラズマ肺炎					1	1	2	8	13	15	9	45
無菌性髄膜炎	1			1	1		3	8	9	14	7	38
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)					2		2	5	3	3	5	16

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	88	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

## 定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 13 週

	静岡県						全国			
	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	今週	第10週	第11週	第12週	今週
RSウイルス感染症	0.28	0.20	0.38	0.16	0.35	0.39	0.35	0.39	0.42	0.48
咽頭結膜熱	0.29	0.12	0.18	0.17	0.22	0.18	0.17	0.17	0.16	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	0.16	0.42	0.09	0.38	0.18	0.52	0.52	0.48	0.52
感染性胃腸炎	7.30	6.08	5.65	5.09	3.64	3.29	5.88	5.36	4.21	3.73
水痘	0.07	0.06	0.03	0.07	0.06	0.08	0.06	0.08	0.07	0.08
手足口病	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.09	0.07	0.07	0.07	0.09
伝染性紅斑		0.01	0.00		0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.13	0.21	0.18	0.24	0.22	0.15	0.21	0.23	0.20	0.24
ヘルパンギーナ					0.01	0.02	0.05	0.06	0.06	0.10
流行性耳下腺炎	0.06	0.04	0.07	0.06	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
インフルエンザ	3.01	4.16	5.96	4.59	3.39	2.28	11.10	8.42	6.44	4.06
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.01	
流行性角結膜炎	0.18	0.14	0.14		0.05	0.17	0.20	0.20	0.16	0.22
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎	0.10	0.20	0.10				0.02	0.01	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎					0.10	0.10	0.02	0.03	0.03	0.02
無菌性髄膜炎	0.10			0.10	0.10		0.02	0.02	0.03	0.01
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)					0.20		0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 13 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	36	0.39	17	0.18	17	0.18	306	3.29	7	0.08
賀茂					1	0.50	2	1.00		
熱海							8	2.00	2	0.50
東部	5	0.38			3	0.23	27	2.08		
御殿場			2	0.50			38	9.50		
富士					1	0.10	20	2.00		
静岡市	4	0.25	4	0.25	4	0.25	31	1.94	3	0.19
中部	1	0.09	2	0.18	3	0.27	32	2.91		
西部	11	0.73	3	0.20	3	0.20	40	2.67		
浜松市	15	0.83	6	0.33	2	0.11	108	6.00	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	8	0.09	3	0.03	14	0.15	1	3	2	0.02
賀茂							1	1		
熱海					1	0.25				
東部			1	0.08	3	0.23		2		
御殿場										
富士					1	0.10				
静岡市					3	0.19				
中部	5	0.45			2	0.18			2	0.18
西部	2	0.13	1	0.07	1	0.07				
浜松市	1	0.06	1	0.06	3	0.17				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	3	0.03	331	2.28	0	0	0	0	89	50
賀茂			3	1.00					2	1
熱海			1	0.17					4	2
東部			18	0.90					13	7
御殿場			93	15.50					4	2
富士	1	0.10	28	1.65					9	6
静岡市			43	1.72					16	9
中部			27	1.59					11	6
西部	1	0.07	32	1.39					12	7
浜松市	1	0.06	86	3.07					18	10

\*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 13 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	0		0		1	0.10
賀茂										
熱海									1	1.00
東部										
御殿場										
富士										
静岡市			2	0.40						
中部										
西部										
浜松市			2	0.67						

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

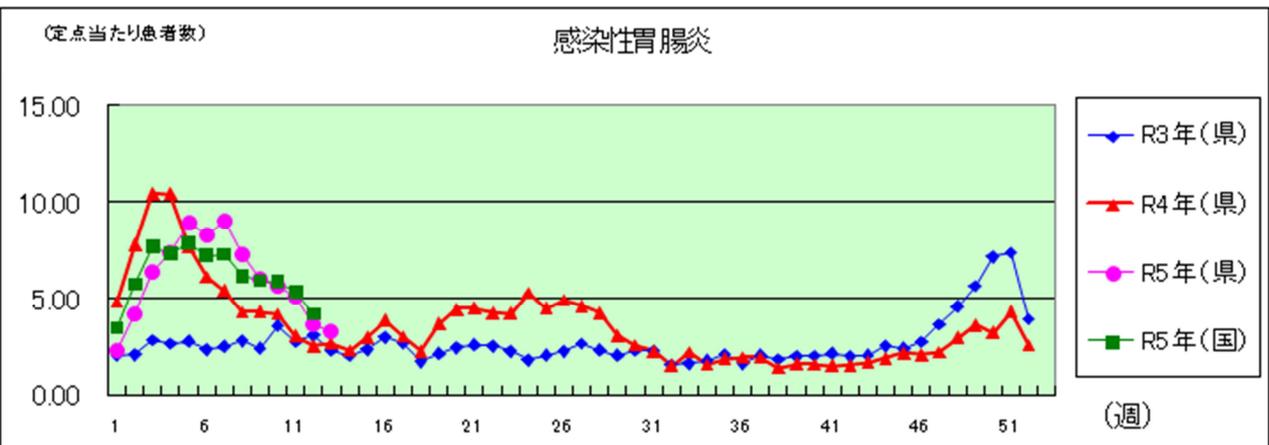
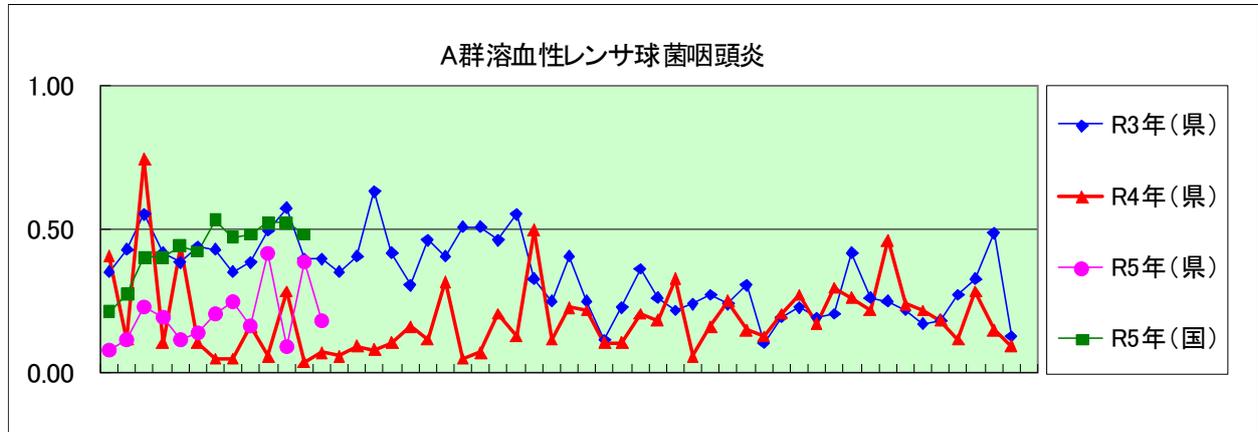
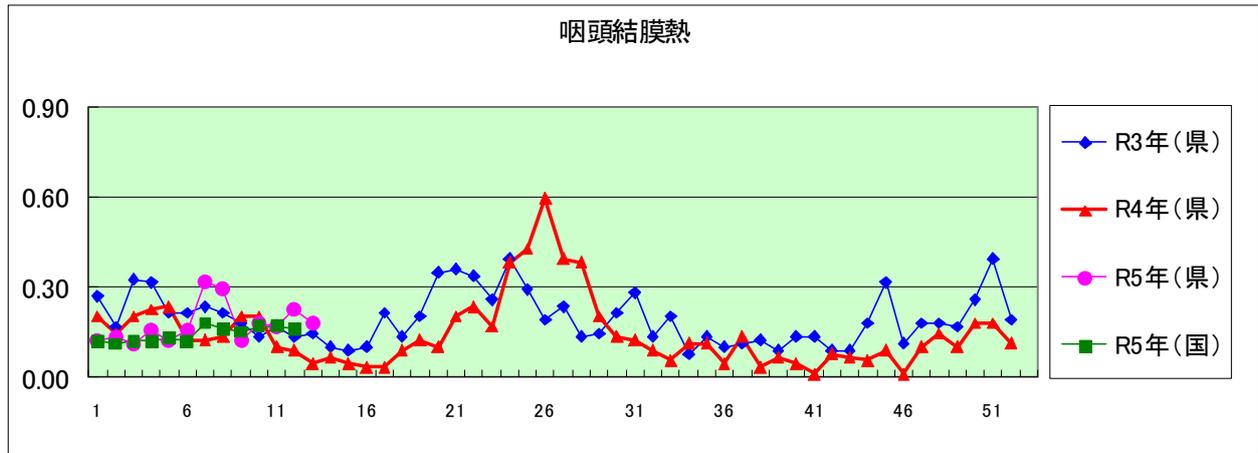
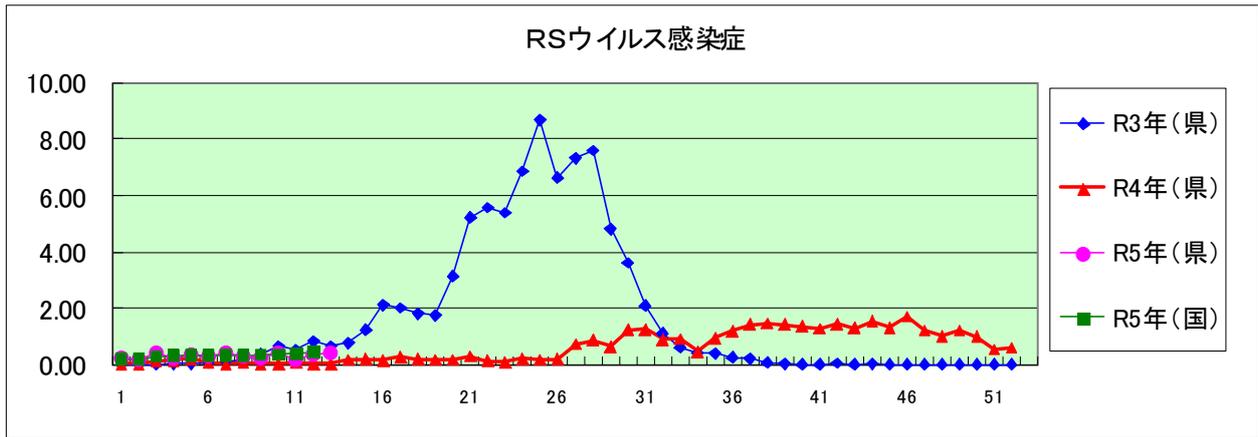
2023年 13 週

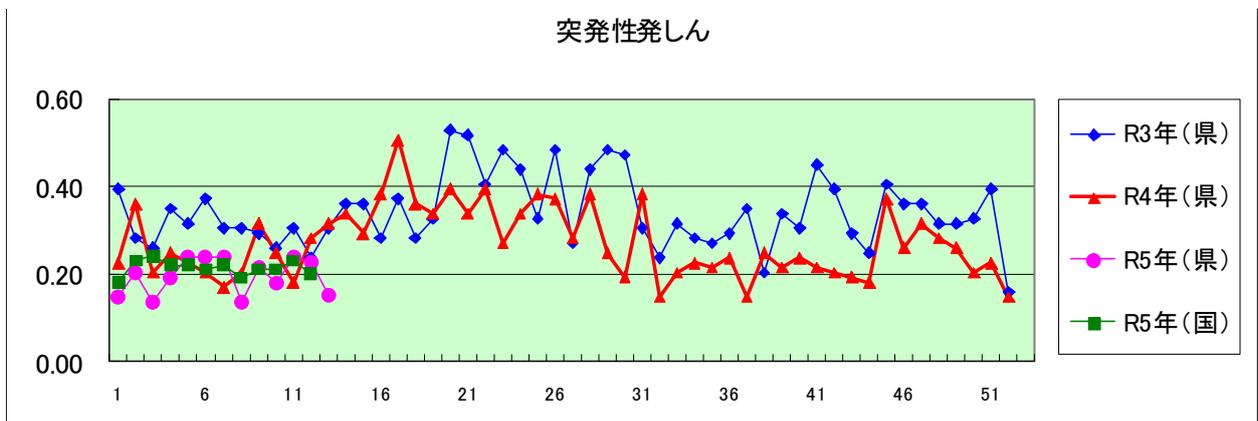
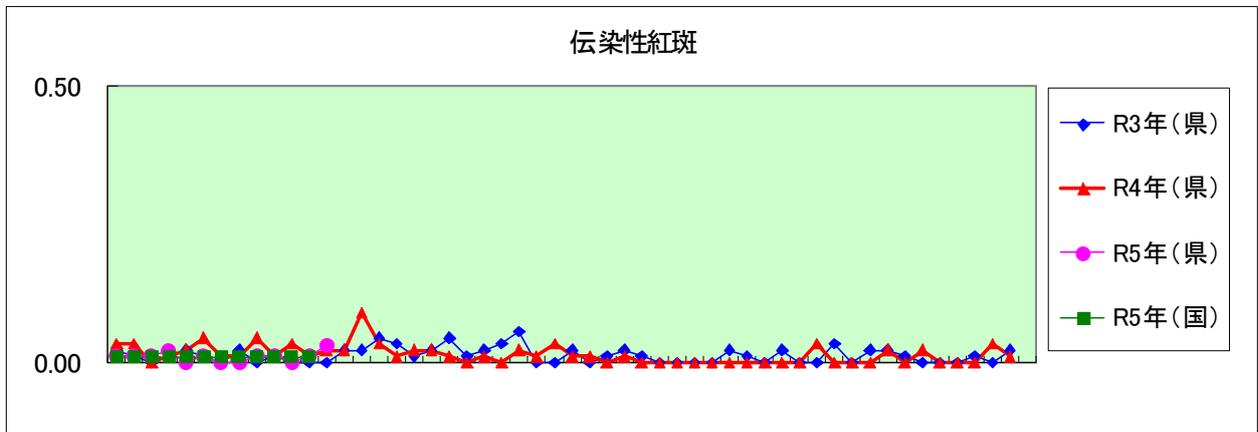
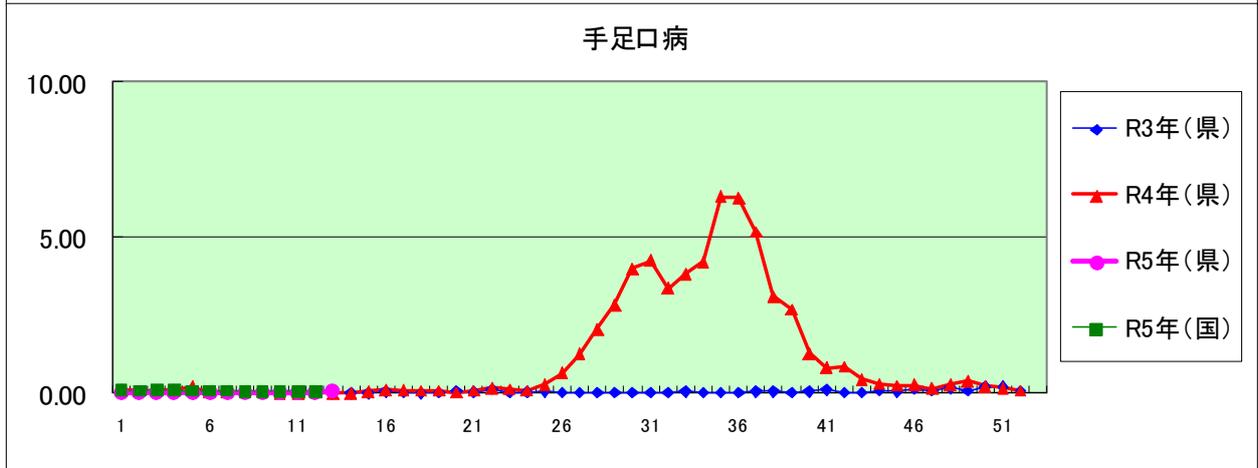
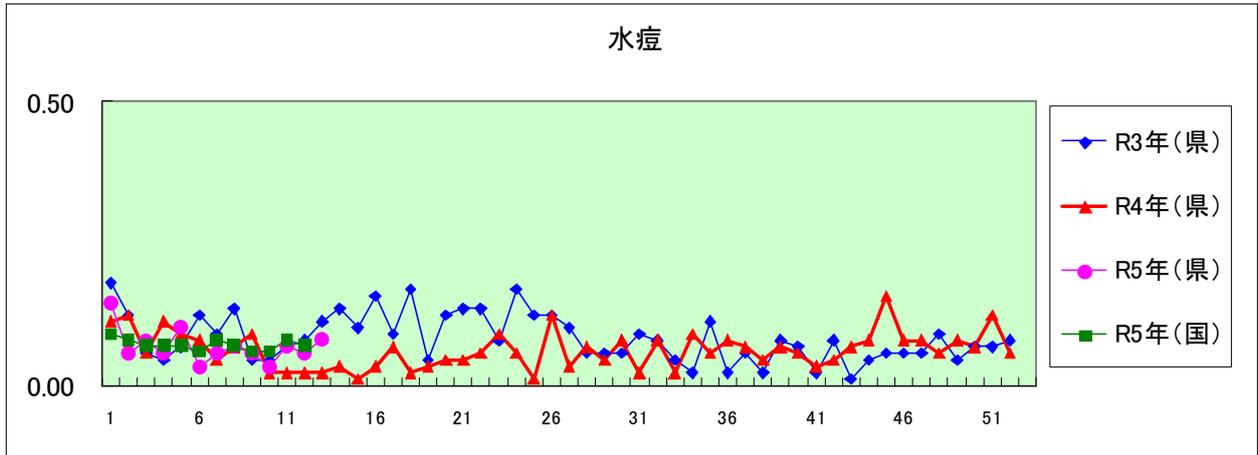
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
# (小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
# (眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	2	4	11	2	6	6	2	1				1	1								36
咽頭結膜熱		2	5	6	2	1	1														17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	2	2	3		3	1		2	3									17
感染性胃腸炎	3	16	42	42	21	42	34	24	16	11	7	18	1	29							306
水痘		1		1					1			4									7
手足口病			2	4	1							1									8
伝染性紅斑				1			1				1										3
突発性発しん		6	7	1																	14
ヘルパンギーナ	1													1							2
流行性耳下腺炎								1	1			1									3
インフルエンザ	2	4	10	9	14	22	27	58	14	16	15	45	15	4	32	25	3	8	1	7	331
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎										1				1	1				1		4
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎						1															1
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

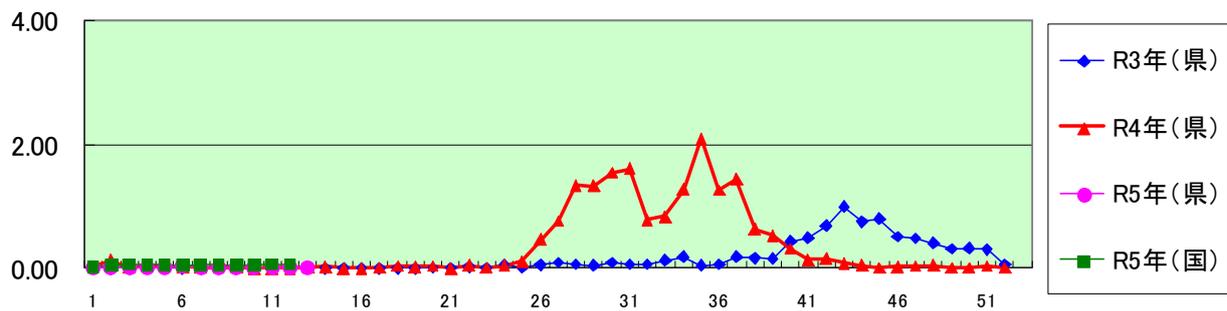
2023年 13 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
# (小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
# (眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
# (基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.02	0.04	0.12	0.02	0.06	0.06	0.02	0.01				0.01	0.01								0.37
咽頭結膜熱		0.02	0.05	0.06	0.02	0.01	0.01														0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.01	0.02	0.02	0.03		0.03	0.01		0.02	0.03									0.17
感染性胃腸炎	0.03	0.17	0.45	0.45	0.23	0.45	0.37	0.26	0.17	0.12	0.08	0.19	0.01	0.31							3.29
水痘		0.01		0.01					0.01			0.04									0.07
手足口病			0.02	0.04	0.01							0.01									0.08
伝染性紅斑				0.01			0.01				0.01										0.03
突発性発しん		0.06	0.08	0.01																	0.15
ヘルパンギーナ	0.01													0.01							0.02
流行性耳下腺炎								0.01	0.01			0.01									0.03
インフルエンザ	0.01	0.03	0.07	0.06	0.10	0.15	0.19	0.40	0.10	0.11	0.10	0.31	0.10	0.03	0.22	0.17	0.02	0.06	0.01	0.05	2.29
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎											0.04			0.04	0.04				0.04		0.16
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎						0.10															0.10
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

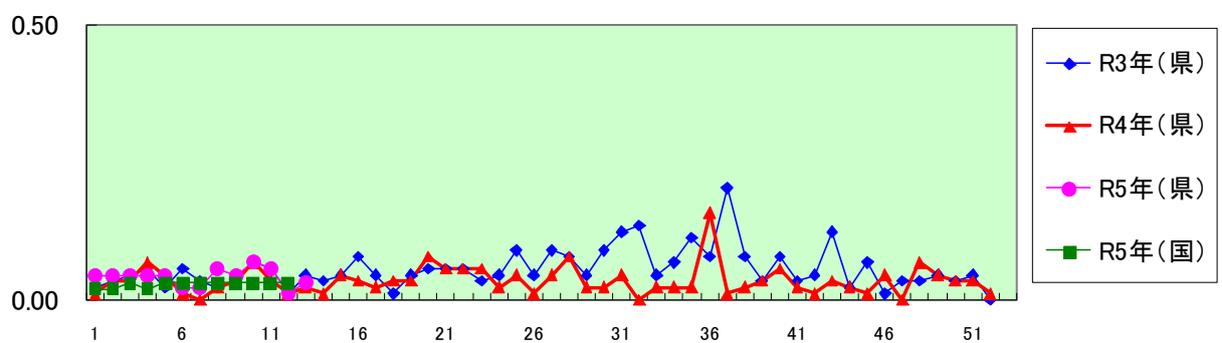




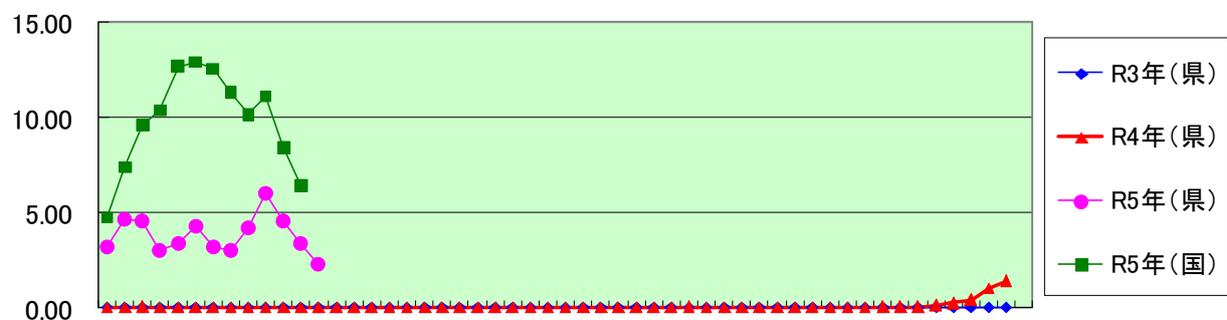
### ヘルパンギーナ



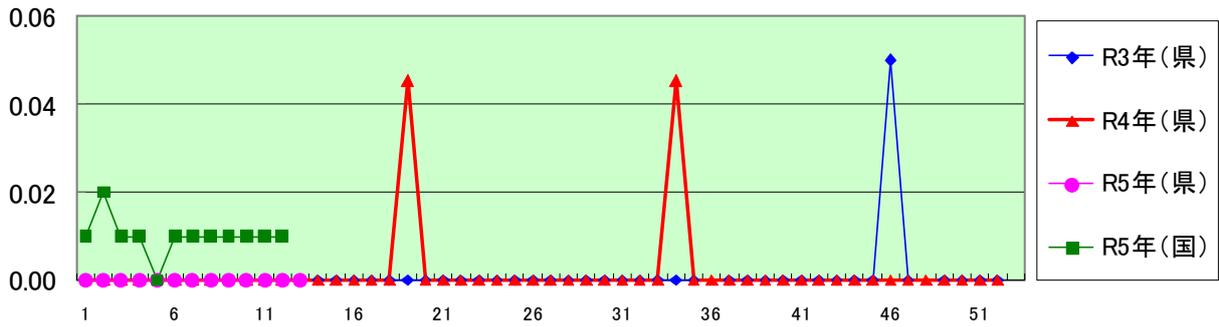
### 流行性耳下腺炎



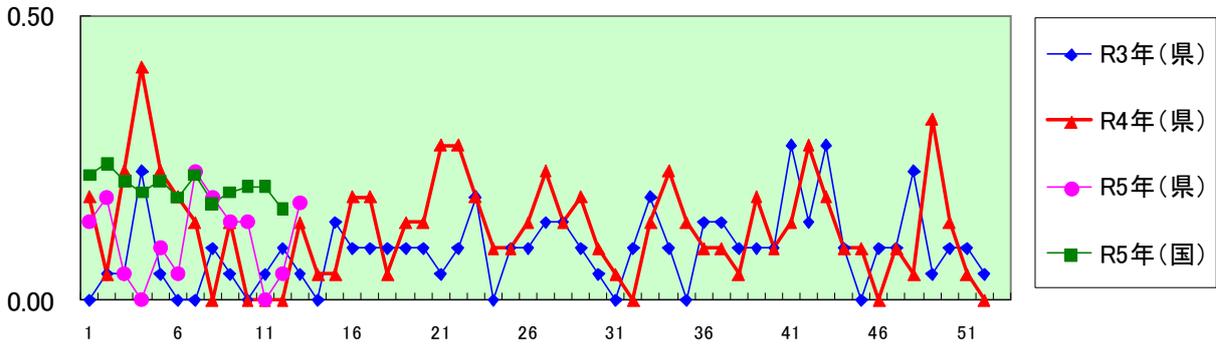
### インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)



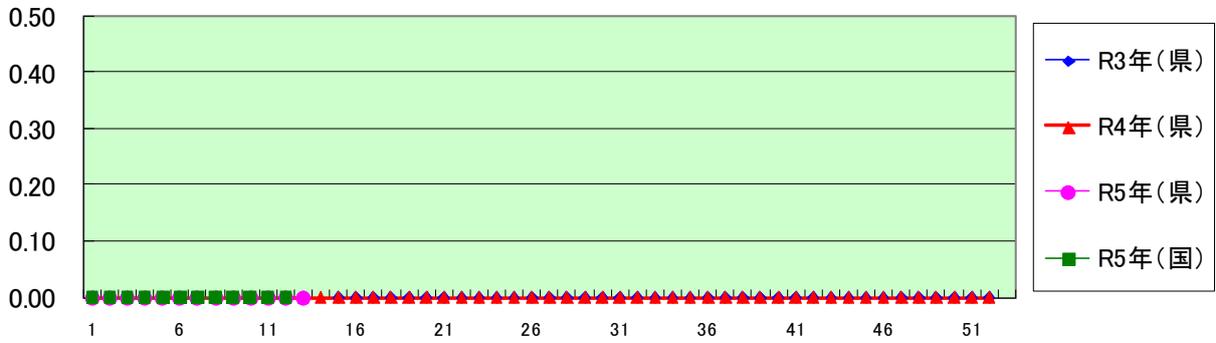
急性出血性結膜炎



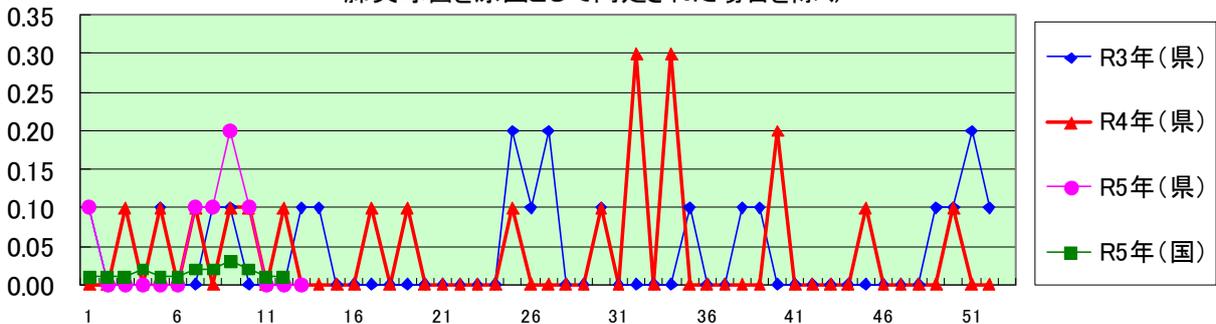
流行性角結膜炎

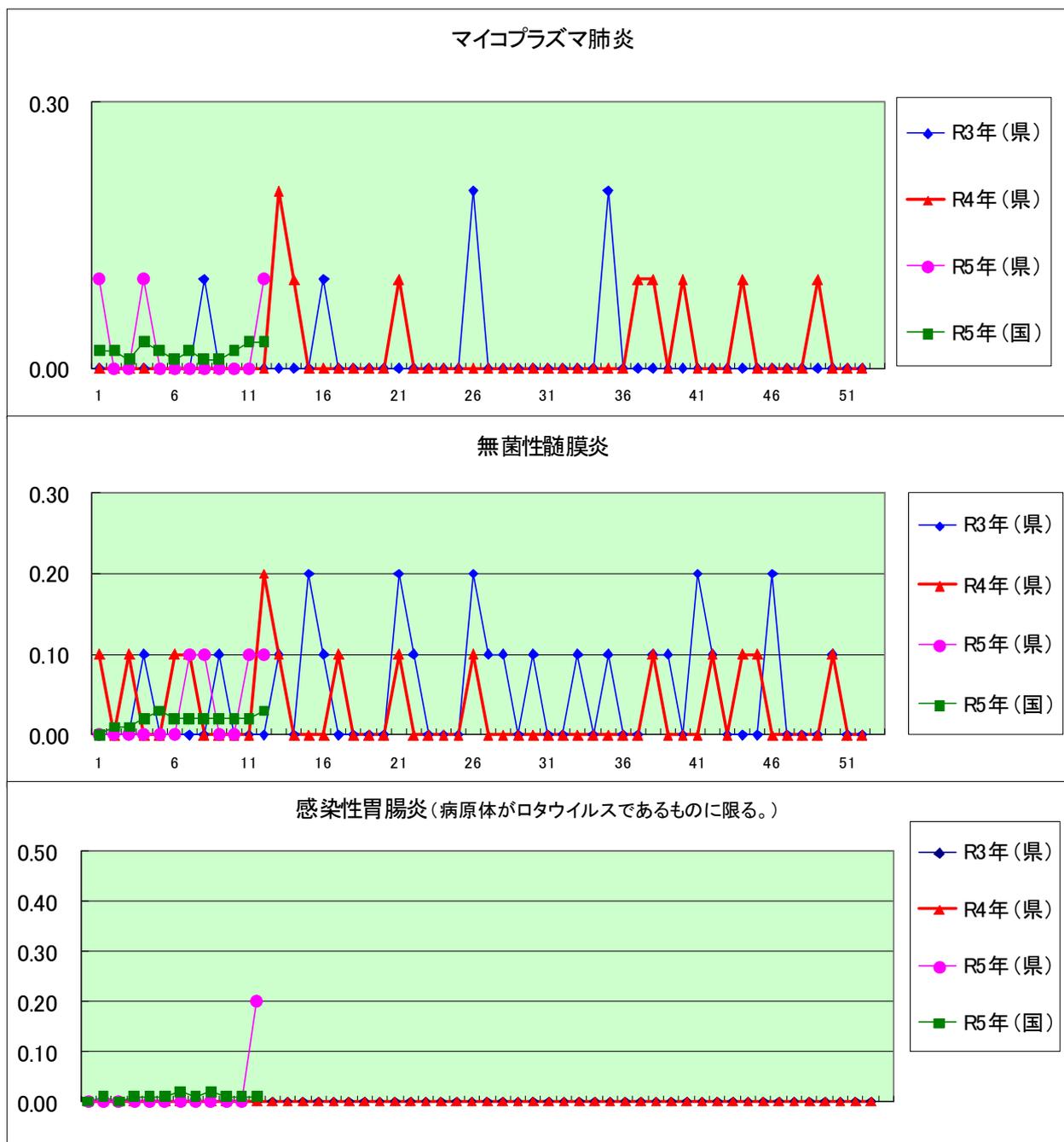


クラミジア肺炎(オウム病を除く)



細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)





定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

## 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 2 月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	45	57	57	49	49	47	304	2,614	2,334	2,456	2,380	9,784
性器ヘルペスウイルス感染症	8	23	18	19	11	10	89	699	663	694	670	2,726
尖圭コンジローマ	9	18	11	6	10	12	66	580	483	500	526	2,089
淋菌感染症	14	16	11	11	18	11	81	833	755	843	691	3,122
性器クラミジア感染症(男)	10	16	21	18	16	19	100	1,346	1,173	1,330	1,227	5,076
性器クラミジア感染症(女)	35	41	36	31	33	28	204	1,268	1,161	1,126	1,153	4,708
性器ヘルペスウイルス感染症(男)		14	5	5	4	1	29	252	239	265	249	1,005
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	8	9	13	14	7	9	60	447	424	429	421	1,721
尖圭コンジローマ(男)	3	8	6	3	6	9	35	400	337	326	352	1,415
尖圭コンジローマ(女)	6	10	5	3	4	3	31	180	146	174	174	674
淋菌感染症(男)	11	8	9	6	13	8	55	618	556	631	512	2,317
淋菌感染症(女)	3	8	2	5	5	3	26	215	199	212	179	805
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								89		71	70	230
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	15	18	10	13	18	88	1,225	1,210	1,457	1,209	5,101
薬剤耐性緑膿菌感染症								8		9	10	27

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 2 月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	1.50	1.90	1.90	1.63	1.63	1.57	2.67	2.38	2.51	2.42
性器ヘルペスウイルス感染症	0.27	0.77	0.60	0.63	0.37	0.33	0.71	0.68	0.71	0.68
尖圭コンジローマ	0.30	0.60	0.37	0.20	0.33	0.40	0.59	0.49	0.51	0.54
淋菌感染症	0.47	0.53	0.37	0.37	0.60	0.37	0.85	0.77	0.86	0.70
性器クラミジア感染症(男)	0.33	0.53	0.70	0.60	0.53	0.63	1.37	1.19	1.36	1.25
性器クラミジア感染症(女)	1.17	1.37	1.20	1.03	1.10	0.93	1.30	1.18	1.15	1.17
性器ヘルペスウイルス感染症(男)		0.47	0.17	0.17	0.13	0.03	0.26	0.24	0.27	0.25
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.27	0.30	0.43	0.47	0.23	0.30	0.46	0.43	0.44	0.43
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.27	0.20	0.10	0.20	0.30	0.41	0.34	0.33	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.20	0.33	0.17	0.10	0.13	0.10	0.18	0.15	0.18	0.18
淋菌感染症(男)	0.37	0.27	0.30	0.37	0.43	0.27	0.63	0.57	0.64	0.52
淋菌感染症(女)	0.10	0.27	0.07	0.17	0.17	0.10	0.22	0.20	0.22	0.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.19	0.17	0.15	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.40	1.50	1.80	1.00	1.30	1.80	2.57	2.54	3.05	2.53
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.01	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	47	1.57	10	0.33	12	0.40	11	0.37
賀茂								
熱海			4	4.00				
東部	5	1.00	1	0.20				
御殿場	3	3.00						
富士	5	1.67	2	0.67	1	0.33	3	1.00
静岡市	11	1.83	1	0.17	7	1.17	3	0.50
中部	6	1.50	1	0.25	2	0.50	4	1.00
西部	13	2.60	1	0.20	1	0.20	1	0.20
浜松市	4	0.80			1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			18	1.80		
賀茂			2	2.00		
熱海						
東部						
御殿場						
富士			2	2.00		
静岡市			10	5.00		
中部						
西部			2	2.00		
浜松市			2	1.00		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

\* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

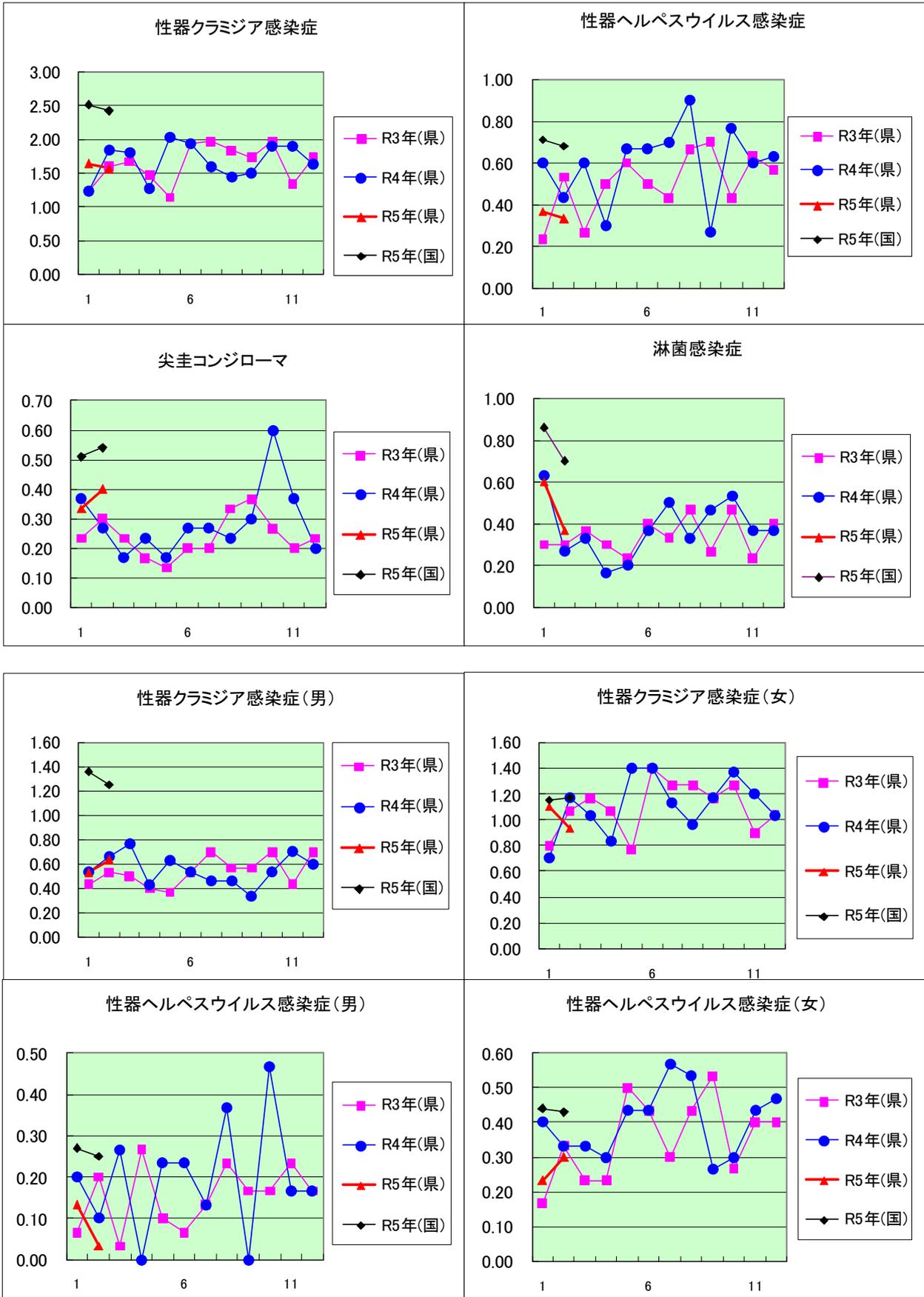
2023年 2 月

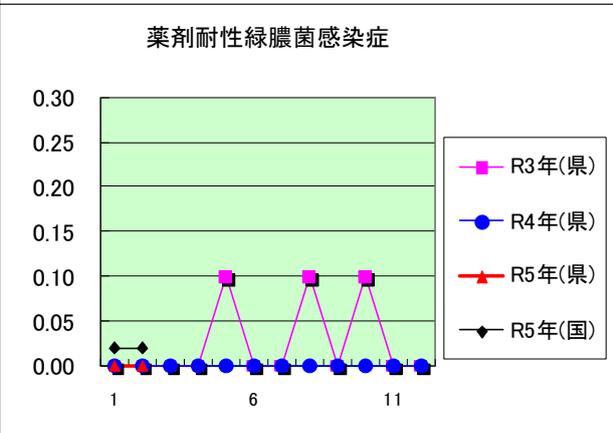
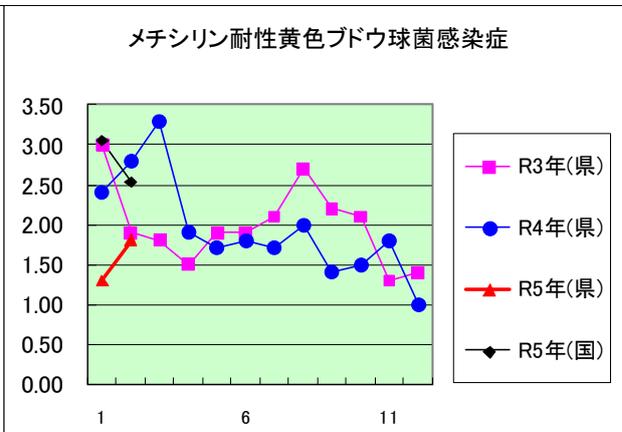
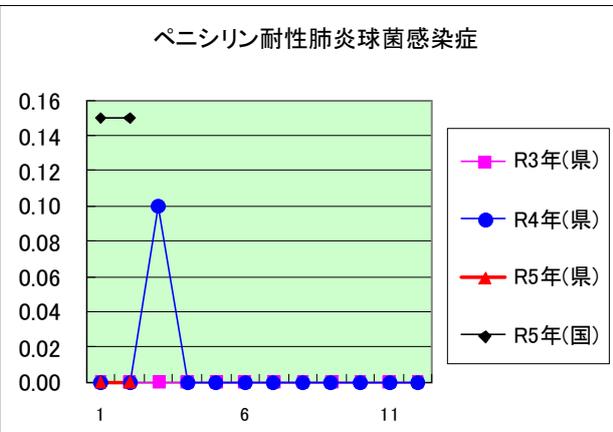
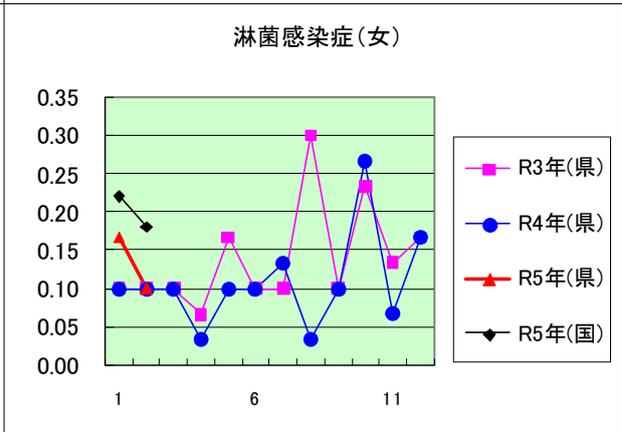
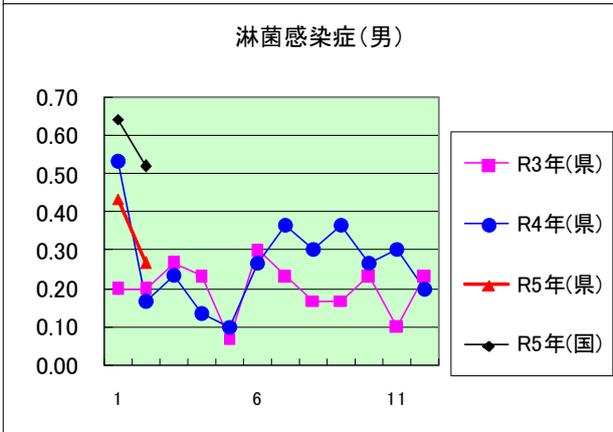
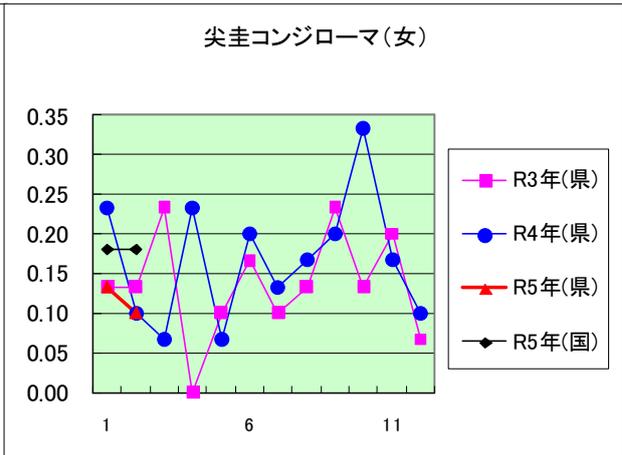
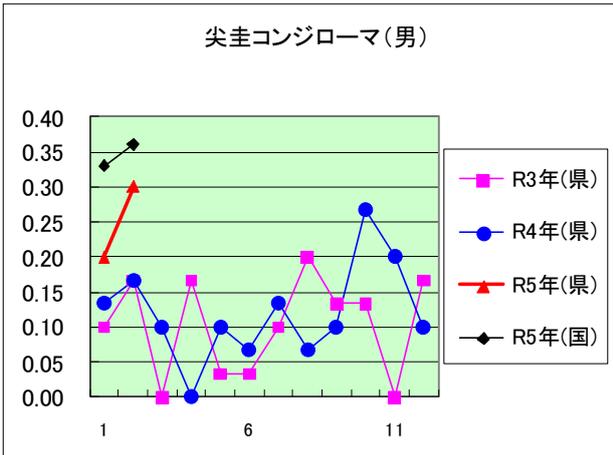
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					5	18	7	6	3	1	3	2	2				47
性器ヘルペスウイルス感染症						2	2				4			2			10
尖圭コンジローマ					1	3	2	1	1	1	1	2					12
淋菌感染症						3	3	1	1		1	1	1				11
性器クラミジア感染症(男)					1	9	1	2	1		2	2	1				19
性器クラミジア感染症(女)					4	9	6	4	2	1	1		1				28
性器ヘルペスウイルス感染症(男)											1						1
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	2				3			2			9
尖圭コンジローマ(男)						3	1		1	1	1	2					9
尖圭コンジローマ(女)					1		1	1									3
淋菌感染症(男)						2	1	1	1		1	1	1				8
淋菌感染症(女)						1	2										3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症												1		2	2	13	18
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.17	0.60	0.23	0.20	0.10	0.03	0.10	0.07	0.07				1.57
性器ヘルペスウイルス感染症						0.07	0.07				0.13			0.07			0.33
尖圭コンジローマ					0.03	0.10	0.07	0.03	0.03	0.03	0.03	0.07					0.40
淋菌感染症						0.10	0.10	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03				0.37
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.30	0.03	0.07	0.03		0.07	0.07	0.03				0.63
性器クラミジア感染症(女)					0.13	0.30	0.20	0.13	0.07	0.03	0.03		0.03				0.93
性器ヘルペスウイルス感染症(男)											0.03						0.03
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.07				0.10			0.07			0.30
尖圭コンジローマ(男)						0.10	0.03		0.03	0.03	0.03	0.07					0.30
尖圭コンジローマ(女)					0.03		0.03	0.03									0.10
淋菌感染症(男)						0.07	0.03	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03				0.27
淋菌感染症(女)						0.03	0.07										0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症												0.10		0.20	0.20	1.30	1.80
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

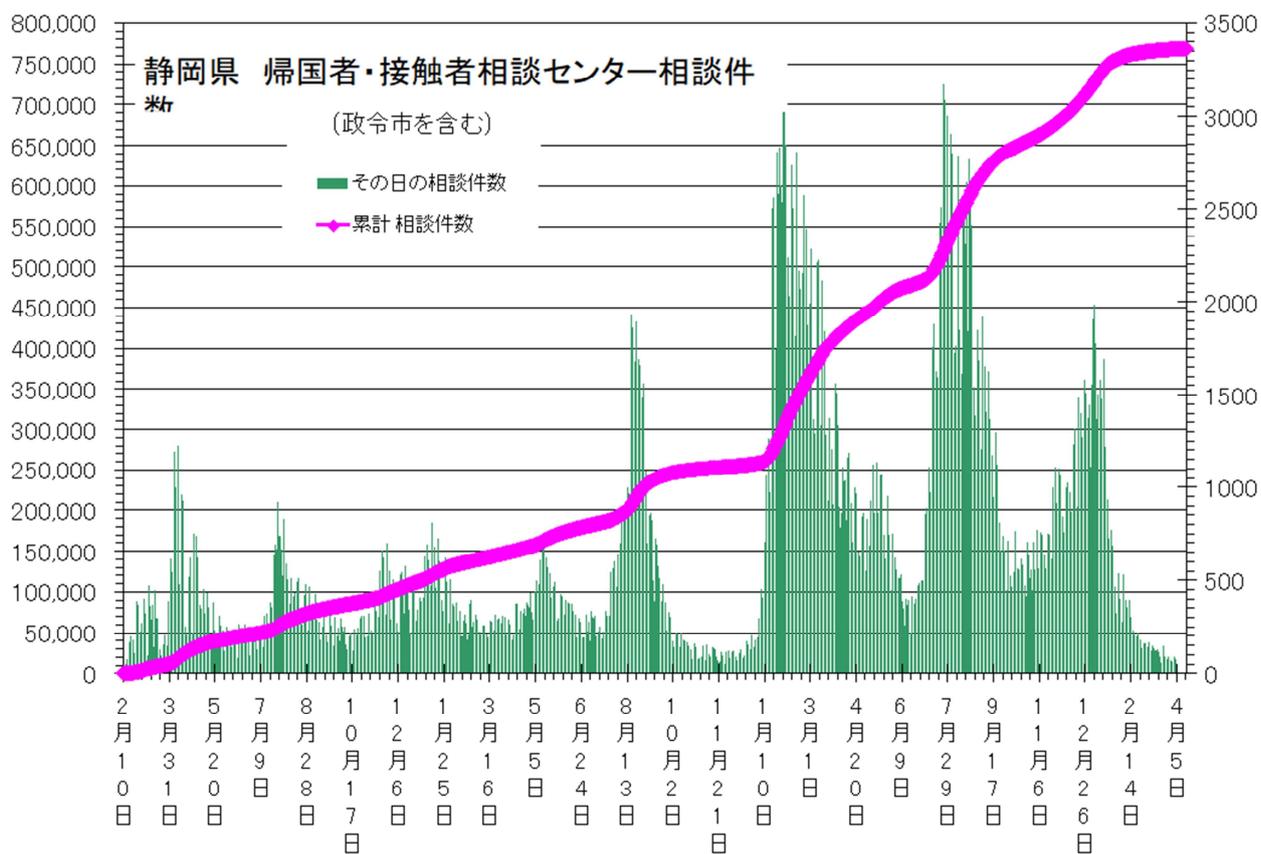




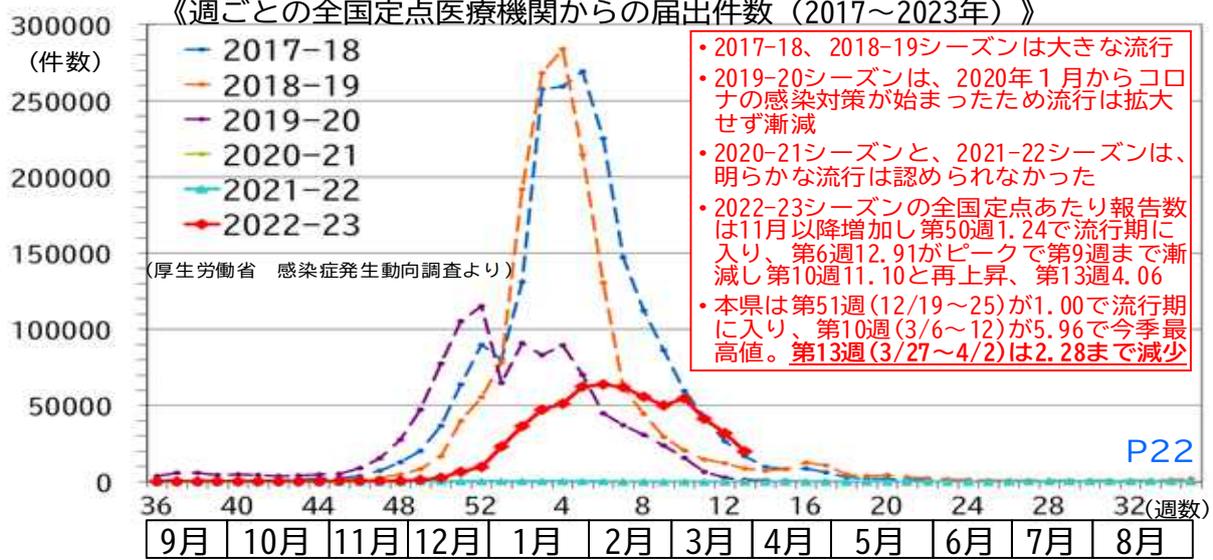
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和5年4月5日時点）

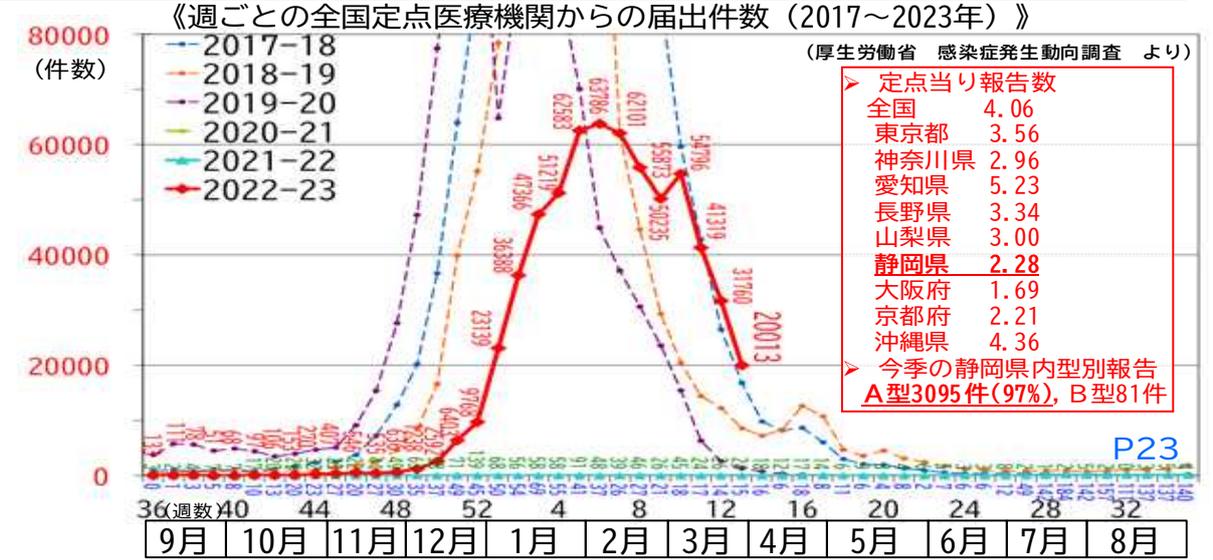
項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
3月30日 木	2,099		155		
3月31日 金	2,004		133		
4月1日 土	1,004		171		
4月2日 日	717	11,666	132	797	6.8%
4月3日 月	2,635		81		
4月4日 火	1,947		125		
4月5日 水	1,260				



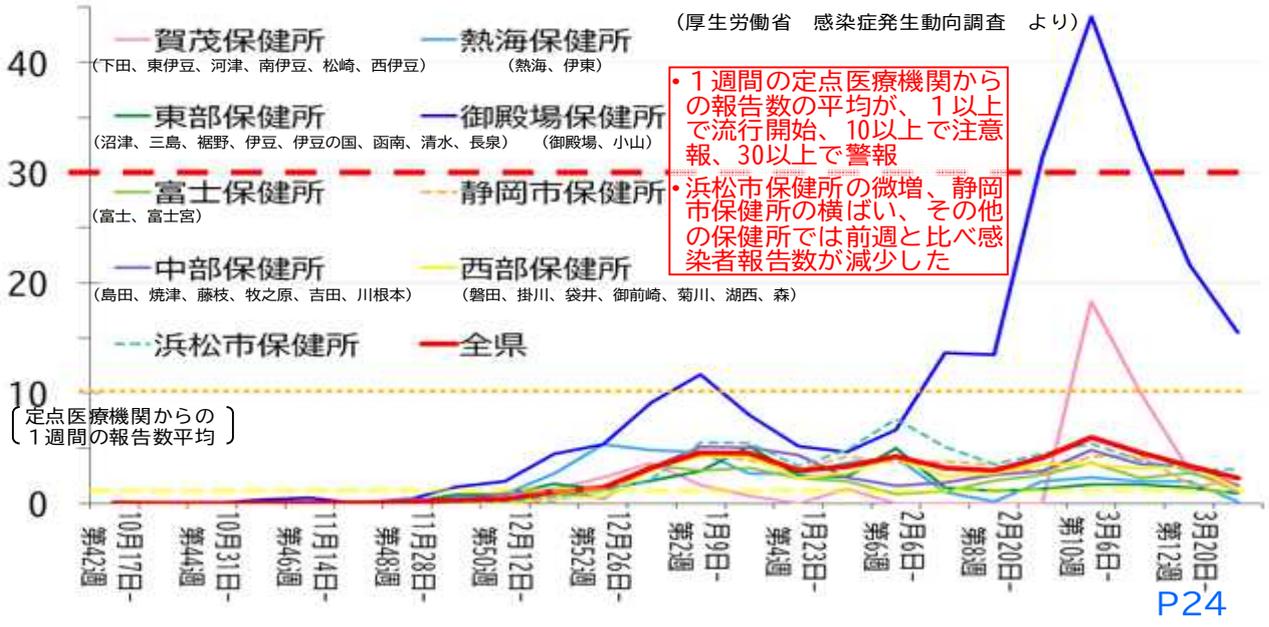
# 今季のインフルエンザの流行状況 (3/27~4/2 第13週時点)



# 今季のインフルエンザの流行状況 (3/27~4/2 第13週時点) 【拡大】

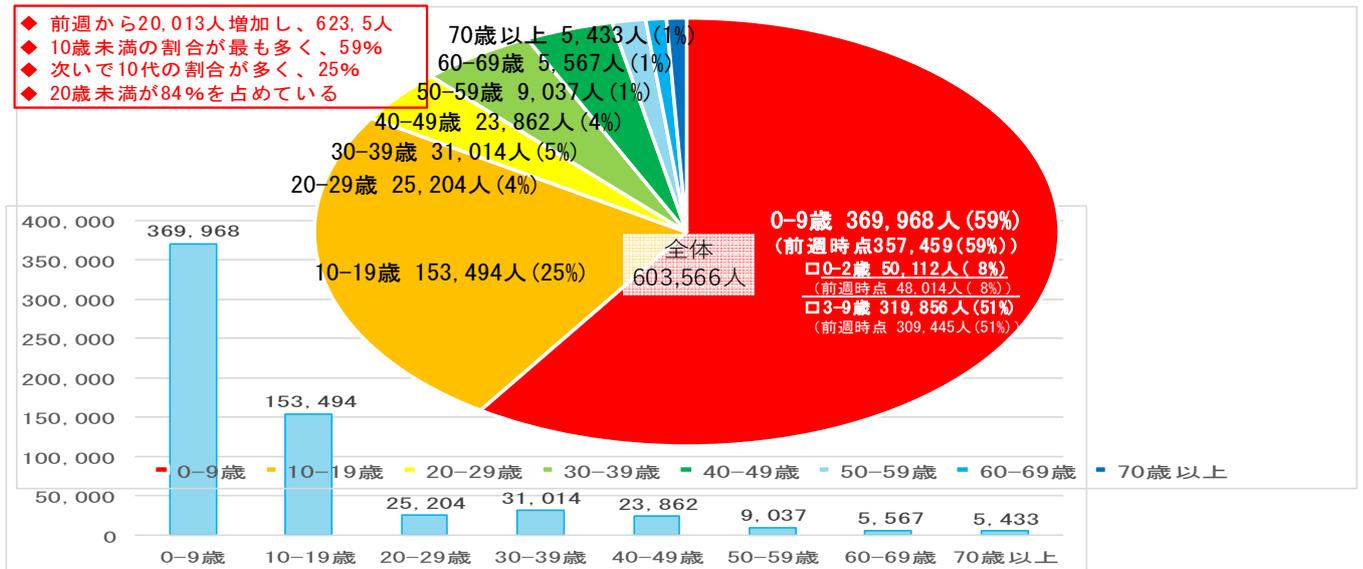


# 静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.10/10~2023.4/2)



## 全国の今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合

2023年第13週(3/27-4/2)時点



### ☆県民のみなさまへ注意喚起

#### (1) 「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

(新型コロナウイルス対策と同じです)

- なるべく密を避けましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

#### (2) インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症にそなえて

- インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンのできるだけ早い接種を検討してください
- 発熱などの体調不良時にそなえて、解熱鎮痛薬、生活必需品（体温計、日持ちする食料（5～7日分）など）、新型コロナ抗原定性検査キットなどを早めに購入しておきましょう
- 発熱、頭痛、咳等の症状が出た場合にあわてないよう、かかりつけ医療機関、静岡県発熱等診療医療機関などの電話相談窓口を確認しておきましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による外来医療機関のひっ迫が懸念されていますので、企業や学校等は、従業員や児童等が体調不良で療養を開始する際に、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査結果を証明する書類や診断書を求めないように御配慮ください（復帰する際の検査の陰性証明や治癒証明も同様です）

## サル痘患者の発生について

令和5年3月28日、県内在住の方でサル痘の疑いがある患者が報告されました。県内の医療機関を受診しており、検査の結果、3月29日、サル痘の陽性が確定しました。

### 【患者の概要】

年 代：40歳代  
性 別：男性  
居 住 地：静岡県  
症 状：発疹、浮腫  
受 診 日：令和5年3月27日  
海外渡航歴：なし  
患者の状況：状態は安定しています。

※ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報の保護にご配慮ください。

### サル痘とは

- ・サル痘は、サル痘ウイルス感染による急性発疹性疾患であり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）では、四類感染症に指定されています。1970年にザイール（現在のコンゴ民主共和国）でヒトで初めて感染が確認された感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。
- ・2022年5月以降、従前のサル痘流行国への海外渡航歴のないサル痘患者が欧州、米国等で報告されており、日本では感染症発生動向調査において、集計の開始された2003年以降、輸入例を含めサル痘患者の報告はありませんでしたが、2022年7月25日、東京都在住の方の感染が初めて報告されました（R5.3.30現在：国内82例）。

## 県民の皆様へ

- ・サル痘は、サル痘ウイルスによる急性発疹性疾患です。主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類が自然宿主とされており、感染した動物に噛まれたり、感染した動物の血液、体液、皮膚病変（発疹部位）との接触による感染が確認されています。主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。
- ・これまでアフリカ大陸の流行地域（アフリカ大陸西部から中央部）で主に発生が確認されていましたが、2022年5月以降海外渡航歴のないサル痘患者が欧米等を中心に世界各国で確認されています。
- ・サル痘の潜伏期間は7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- ・発熱、発疹等、体調に異常がある場合には身近な医療機関に相談するとともに、手指消毒等の基本的な感染対策を行ってください。
- ・海外からの帰国された方で、体調に異常がある場合は、到着した空港等の検疫ブースで検疫官に申し出てください。帰国後に症状が認められた場合は、医療機関を受診し、医師へ海外への渡航歴を教えてください。
- ・なお、海外では、サル痘の予防に対しては、天然痘ワクチンが有効であるとの報告がなされており、ウイルスへの曝露後4日以内の接種で感染予防効果が、曝露後4～14日以内の接種で重症化予防効果があるとされています。天然痘ワクチンについては、国において十分な量の備蓄が行われています。

### <関連情報>

- ・静岡県ホームページ（サル痘について）  
<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/1040682/1024187.html>
- ・厚生労働省ホームページ（サル痘について）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html)
- ・国立感染症研究所ホームページ（サル痘とは）  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/408-monkeypox-intro.html>